

# 船場・城西－温故知新

毎号に少しずつですが、昔の船場・城西周辺の景観写真や地図等、往時を今に伝える史料を掲載しています。今は修復された姫路城が注目されていますが、姫路はお城だけではなく、他にも多くの歴史が詰まった街です。

私たちの街の歴史がわかると、今の街並みをもっと輝いて見えてきますよ。

シリーズ(18) 町別景観写真その1. 昭和30~40年代の●新在家、●嵐山町



写真\_A 新在家



写真\_B 嵐山町



これからまちづくりかわら版では、兵庫県立歴史博物館所蔵の高橋秀吉コレクションの写真を中心に、昭和30~40年頃の船場・城西地区各町の様子を順次紹介していきます。

半世紀前の船場・城西の町がどんな様子だったのか、町にどのような歴史があったのか、現在の町の様子と比べて思いを巡らせてみて下さい。

- ・写真\_A 新在家[1972年]【昭和47年9月／城西小学校の南面】  
当時の校舎はまだ木造校舎です。左側の白い建物は講堂です。児童数が増加している時代なのか、正面校舎の昭和40年代半ばに増築された部分(右側白い壁面の部分)や仮校舎と思われる右手前の建物が印象的です。
- ・写真\_B 嵐山町[1969年]【昭和44年10月／車中から嵐山町を西望】  
この頃は、道沿いに菓子店、八百屋、牛乳店等色々な商店があった様子が見えます。道の正面先には名古屋山の建物が見えています。

※【 】内は撮影者・高橋秀吉氏により写真裏面に記載された説明原文。